



学校施設の目指すべき姿 (北広島市学校施設長寿命化計画(R2.3))

新しい時代の学びを実現する学校施設の 在り方 (文部科学省(R4.3))

I 安全・安心な学校施設

➡ 児童生徒が事件・事故に遭うことのない
安全・安心な学校施設

II 社会の変化に適応した教育活動 が展開できる学校施設

➡ 学習内容や学習形態の変化に適応し、豊かな
教育活動を展開できる学校施設

III 快適に学び、生活できる学校施設

➡ 障がいの有無に関わらず誰もが快適に
学び、生活できる学校施設

IV 地域の拠点としての学校施設

➡ 教育施設としての役割を中核に、地域の
拠点として多様な活用が可能な学校施設

学び

➡ 柔軟で創造的な学習空間
(例：1人1台端末)

生活

➡ 健やかな学習・生活空間
(例：空調設備の整備)

共創

➡ 地域と連携した共創空間
(例：公共施設等との複合化)

安全

➡ 安全・安心な教育環境
(例：バリアフリー,防災機能)

環境

➡ 持続可能な教育環境
(例：省エネルギー化)

市の学校施設長寿命化計画においては、学校施設の目指すべき姿として4つの方向性（I～IV）を定め、文部科学省作成の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」を包括した考えとなっている。

→今後、学校施設の目指すべき姿（I～IV）の4つの観点において、**新しい時代の学びに対応する学校施設の在り方を含め**、議論していく必要がある。